



報道関係者各位

2012年3月1日
ジェットスターグループ

ジェットスター日本就航 5周年を祝う

- 2012年3月1日ジェットスターは日本就航5周年大感謝祭を開催。
- 5年間で200万人以上のお客様がジェットスターの日本発着便を利用。
- 日本-オーストラリア/アジア間を片道500円〜^{*1}のジェットメール会員限定セールを実施。(指定された都市間、諸条件適用)^{*2}

日本就航5周年を迎えたジェットスターは計画通り、日本に低運賃の国内線フライト^{*3}を提供するための新会社ジェットスター・ジャパン^{*3}の運航に向けて、着々と準備を進めております。(関係機関の認可を前提としています)

ジェットスターは日本市場においてもローコストキャリアのパイオニアとして、2007年の就航以来、ジェットスター航空、ジェットスター・アジア航空が運航する日本-オーストラリア、シンガポール、台湾間を結ぶ国際線において200万人以上のお客様にご利用頂いています^{*2}。

ジェットスターグループ CEO ブルース・ブキャナンは、「日本市場での5年間の経験から得た知識、財産を私たちはジェットスター・ジャパン^{*3}と共有することができます。国内旅行を楽しむ方々に素晴らしい商品を提供することができる強力な基盤をジェットスター・ジャパン^{*3}に提供することができるでしょう。」

「ジェットスターが他のローコストキャリアと違う点は、既にこの5年間に日本においてローコストキャリアとしての運航実績があるという点です。」

「ジェットスターは、ローコストキャリアとして日本の消費者のニーズを満たすための経験と確固たる知見があります。そして多くの人々からの信頼を大切にしています。」

「また、私達は既に200万人以上のお客様に日本発着便を利用頂いていること、そして私達のご提供する低運賃が、今までは実現できなかった旅行や、週末などの休日を利用して友達や家族を尋ねるといったことを可能にしたことを大変誇りに思います。」

「ジェットスター・ジャパンは、この経験を生かし、国内旅行の選択肢をさらに多くの人々に届けたい。」とブルース・ブキャナンは続けました。

今まで海外に行ったことがなかったという人がジェットスター国際線の利用者の約4分の1を占めます。これらの数字はジェットスターが提供する低運賃が新しい旅の需要を創り出したことを示しています。

ジェットスター・ジャパン^{*3}は最低運賃を提供することを約束しており、プライス・ビート・ギャランティーを導入する予定です。これはジェットスターが同時期、同路線などの条件下で他のエアライン運賃より10%安い運賃を提供することを意味しています。これはジェットスター・ジャパン^{*3}が日本で一番のローコストキャリアになるという意思の現れです。(プライス・ビート・ギャランティーの手続きについては関係機関と協議中。)

ジェットスター・ジャパン^{*3}は、2012年7月3日より東京(成田)、関西、札幌、福岡、沖縄の5つの都市への就航を予定しています。また、ジェットスターグループは現在日本発着便を最大週32便運航しており、今年初めに日本の旅行者にさらに選択肢を広げていただくため、週6,000席のキャパシティを追加すると発表しました。

<ジェットスター日本就航 5 周年 大感謝祭>

日本就航 5 周年と間近に控える国内線就航を記念し、ジェットスターは本日(2012 年 3 月 1 日)東京と大阪でイベントを開催しました。

東京会場では、じゃんけん大会が開催され、ジェットスターの日本国内線^{*3}100 席分の無料航空券を求めて長い行列ができました。参加者はジェットメールに入会・登録しお笑いタレントのダンディ坂野氏とじゃんけん勝負。勝者にはジェットスターの日本国内線ネットワーク内での航空券がプレゼントされました。^{*4}

一方大阪会場でも、オレンジコンテストを開催しました。大勢の人々が日本就航 5 周年イベントに参加し、会場はオレンジ色に染まりました。「オレンジコンテスト」の優勝者は国内線 1 年分^{*5}の無料航空券を勝ち取りました。2 位と 3 位のお客様もジェットスターのバウチャー(クーポン券)を手に入れました。^{*3*4}

ジェットスターはさらに日本からオーストラリア/アジアへわずか 500 円^{*1}のフライトを提供する「日本就航 5 周年記念セール」についても発表しました。なおセール運賃は指定された渡航区間および期間のみに適用されます。また本運賃はジェットスターのメールマガジン、ジェットメール登録者にのみに適用されます。セールは 2012 年 3 月 2 日の 23:59 に終了となります。セール運賃の対象となる席には限りがございます(完売次第終了)

*1:セール運賃はジェットメール会員が対象です。非会員はジェットメールへの入会が必要です。燃油付加運賃(片道 3,500 円~14,000 円)と諸税が別途必要となります。諸費用は、2012 年 2 月現在の料金です。運賃はエコノミークラス「Starter」の片道運賃です。受託手荷物の料金は含まれません。セール運賃の対象となる席には限りがございます(完売次第終了)。セール運賃は指定された渡航区間および期間でのみ適用されます。一部適用されない日、フライトがありますのでご了承ください。

*2: オーストラリア路線はジェットスター航空、シンガポール、台北路線はジェットスター・アジア航空により運航しています。

*3:日本国内線は、関係機関の認可を前提として、ジェットスター・ジャパン株式会社により運航開始予定。

*4:航空券のプレゼントは、国内線運航の事業免許認可後、関係当局に運航路線および運賃届出を行った後になります。

*5:各月 1 往復 12 か月分。

<ジェットスターグループについて>

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域で最大の収益を上げているローコストキャリアです。ジェットスターグループ全体で、現在 86 機の機材により週 3,000 便以上をアジア太平洋地域の 17 か国、60 都市に運航しています。従業員は、アジア太平洋地域のみで 7,000 人にのぼります。ジェットスターグループはジェットスター航空(JQ)、ジェットスター・アジア航空(3K)、バリューエア(VF)およびジェットスター・パシフィック航空(BL)から成るグループです。

<ジェットスター・ジャパン株式会社について>

ジェットスター・ジャパンは、ジェットスターグループ(VIA the Qantas Group)、日本航空株式会社、三菱商事株式会社が出資し設立した会社です。2012 年 7 月に国内線の運航(就航地:東京(成田)、札幌、関西、福岡、沖縄)を開始する予定です。3 機の A320 型機で運航を開始、その後 3 年間で運航機材を 24 機まで増やす予定です。2013 年中に短・中距離国際線の運航開始を予定しております。(関係機関の認可を前提)